

【 年間テーマ：認知症の方に対する抑制への対応 】

平成 30 年 6 月 9 日提出

日付	平成 30 年 6 月 9 日 (土)			
場所	天神福岡ビル		記録者名：端山 薫	
出席者 (敬称略)	緑ヶ丘病院 松崎 秀昭	金隈病院 戸村	有吉病院 栗原 悠	津屋崎中央病院 宮崎 由美
	大牟田共立病院 米村 裕志	北九州八幡東病院 三小田 恵理	社会保険稲築病院 伊藤	古森病院
	北九州古賀病院 川越 靖子	北九州湯川病院 端山 薫	北九州湯川病院 竹本 千波	
テーマ	スピーチロック・ミトンが、どうすれば無くなるか			
結論	<p>1. 各病院から問題となっているスピーチロックとミトン使用について自院で検討しアイデアを出す</p> <p>① 問題点：抑制が無くならない</p> <p>② あるべき姿：手が自由に動かせる</p> <p>③ 解決に向けて取り組む問題（課題）</p> <p>2. 意見・情報を交換する</p> <p>3. 持ち帰った方法を自院で試す</p>			
決定事項	<p>1. ミトンを使用しない（IVH・ST を自己抜去しない）</p> <p>ミトン使用の代案を行う</p> <p>① 抱き枕を使用</p> <p>② ロング T シャツ着用</p> <p>③ 栄養を変更して注入時間を短くする</p> <p>④ チューブを出す位置や固定の工夫</p> <p>⑤ 経口摂取を検討する</p> <p>⑥ ちょっとでも外すという意識</p> <p>→職種によって認識の違いがある。価値観の違いが出てしまう</p> <p>2. スタッフ間で情報の共有を行う</p> <p>① カンファレンスを行う</p> <p>② 書類にし、情報を可視化する</p>			

備考	<ol style="list-style-type: none">1. 自社（職場）の強み・弱みを整理分析する2. スピーチロックとミトンに絞らず「抑制を解除する」に変更して、問題点を解決する様取り組む3. 今日学んだこと 職種間の温度差がある
次回討論項目	自分の職場の問題点とあるべき姿を検討し、解決策を考える 問題点の優先順位を決める

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス info@famcf.jp

(FAX.092-691-3961)